

聖カタリナ女子短大。○白石方子。田中ツネ子。

目的。洋服化した時代とはいえ、和服の良さは、伝統的にも保たれ好まれている現在、まだまだ研究しなければならないことが沢山ある。そこで、袋帯の芯入れ方について研究した。

方法。袋帯は、芯を寸法通り裁断し引きこめばよいと、簡単に思うが、織物、織方の進展した現在、帯地としての布の整理、中、寸法に検討を加えての技法の必要さを、数種の帯地に実験、調整し縫製した。寸法を細かく計算しての芯の裁断法による引き込み方が一枚の板のように出き上る縫製法である。

結果。はじめ、一般的芯の入れ方をした場合、ところどころ、ボカボカと浮き上り、何回も入れ直しを必要とした。模様入りの部分のところ、ねじれて思わしくなかった。洋裁式に細かく採寸裁断した結果、一枚の板のように出き上がったのでここに報告する。